

認知症初期集中支援チーム 旭区（市内4区）に新規設置

支援につながっていない、
届いていない人に集中支援を実施



認知症の人や認知症の疑いのある人、その家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」（裏面参照）を、今年度、新たに4区（保土ヶ谷区・旭区・緑区・泉区）に設置します。

認知症は、早期発見・早期対応が重要です。早期に発見し、対応することで、認知症の重症化を防ぐことをねらいとしています。

平成27年度から事業を開始し、2区（鶴見区・西区）に設置。平成28年度は6区（神奈川区・港南区・磯子区・金沢区・港北区・青葉区）に設置しています。今後、全区に拡大していきます。

■29年度設置区・医療機関 ※設置時期：平成29年9月1日

設置区	医療機関
保土ヶ谷区	医療法人 圭信会 東川島診療所
旭区	医療法人 誠心会 神奈川病院
緑区	医療法人社団 元気会 横浜病院
泉区	医療法人社団 鵬友会 横浜ほうゆう病院

お近くに対象になりそうな方がいましたら、ご相談ください。

窓口は、旭区内の地域包括支援センターまたは

旭区役所高齢・障害支援課 高齢者支援担当 ☎954-6125 まで。

■認知症初期集中支援チームとは

1 目的

認知症になっても認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置し、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築します。

2 内容

専門職で構成するチームが、医療や介護につながっていない認知症の人や疑いのある人の自宅を訪問し、医療機関の受診や介護サービスの利用支援をしたり、認知症の状態に応じた助言等を行い、安定的な支援につなげます。

※チームの構成:保健師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、介護福祉士等の医療保健福祉に関する国家資格を有する者2名以上と認知症の専門医等1名以上で構成します

3 対象

在宅で40歳以上の認知症が疑われる人や認知症の人で、

- ①医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人
- ②医療・介護サービスは受けているが、認知症による症状が強く、対応に困っている人

4 初期集中支援の内容

- ①専門医療機関への受診に向けた動機付けを行い、継続的な医療支援につなげる
- ②介護サービス利用の勧奨・指導を行う
- ③認知症の重症度に応じた助言
- ④食事や運動等の身体を整えるケアや生活環境の改善 等

※期間はおおむね6か月

【認知症初期集中支援のイメージ図】

